

(様式2)

令和元年8月6日

守谷市議会

議長 梅木 伸治 様

委員会名 決算予算特別委員会

委員長名 堤 茂信

報告者名 総務教育分科会 市川和代

守谷市議会一般会議を下記のとおり開催しましたので報告いたします。

記

1 開催日時	令和元年 8月 6日 (火) 午前9時30分 ~ 午前11時00分
2 開催場所	株式会社アンフィニ (ひなた保育園)
3 議 題	守谷市放課後子ども総合プラン第三者評価について
4 出席委員名	青木公達座長, 長谷川信市副座長, 佐藤弘子委員, 浅川利夫委員, 渡辺大士委員, 高梨隆委員, 市川和代委員
5 参加市民の範囲 及び参加人数	(株) アンフィニ職員 4人 (大野氏, 本多氏, 和田氏, 山口氏)
【主な発言要旨】 放課後子ども教室、放課後児童クラブの運営について説明を受けたのち、質疑応答をする。 Q 人材の確保が大変ではないか。 A 辞める方もいるが、処遇改善や福利厚生、職員のための保育園をつくるなど職員の定着に努め、この夏は約50人の大学生のアルバイトも採用した。 Q 落ち着かない子どもが多いように思う。学校との連携はどうか。 A 確かに落ち着きのない子が増えている。放課後は子どもが楽しく過ごせるように、「第二の家」との思いで預かっている。ふわふわ言葉、チクチク言	

葉など教えていじめにつながらないようにするとともに、静かにすべきときは静かにできるように取り組んでいる。

特に災害時などしっかり話を聞けるように普段からけじめがつけられるようにすることが大事である。

教育長はじめ、校長、教頭先生など守谷市が一番学校との連携が取れている。担当課とも常に連携している。

Q 時給はいくらか。

A 880円からで、年10円アップする。資格によって違いもある。市町村により時給の差はあるが、時給面だけでなく、福利厚生や保育士の受験資格のためのサポートもしている。

Q 支援員の配置はどうか。

A 基本的には40名に2人だが、要配慮者等いる場合は3～4人就くことがあり、市が柔軟に対応している。

Q お盆休みなども受け入れを希望する保護者がいるがどうか。

A 職員の負担も大きい。親と子が一緒に過ごす時間が大事であり、慎重に判断したい。

Q 学校との連携や行政への提案はないか。

A 仕様書以外のことができないため、イレギュラー対応に苦慮する場合がある。月に1度のプラン会議、週3回の情報交換があり、9校のマネージャーとも情報共有ができています。

学級の利用についても理解してもらっている。

その都度疑問を残さないようにして、キッズファーストでより良い方向で取り組んでいる。

Q 子どもたちの言動による指導員のストレスが気になるが。

A 指導員として初めての人もいます。マネージャー、サブマネージャーが支援員も見ているし、何かあれば和田さん（保育コンサルタント）、山口さん（放課後子ども総合プラン総括責任者）へ連携しサポートしている。

Q 地域ボランティアが少なくなっているのではないかと。

A 高齢化して活動できる人が減っている。地域ボランティアがいるのは、守谷市とつくばみらい市だけ。保護者ボランティア、PTA持ち回りで活動に参加していたが少なくなっている。預けているだけでなく、保護者が年に1

回でも活動に参加してほしい。

Q この夏休みから弁当が始まったが状況はどうか。

A 注文の仕方を特定している。守谷市の業者がなく常総市の業者になった。400円で内容はよい。

Q PR誌の発行は。

A プランだよりを毎月一回発行、保護者へのお願いなども出している。

Q 知り合いの支援員やボランティアの人から聞く話だが、だいぶ不平不満がたまってきているようだ。子どもと親の扱い方が大変で言葉遣いも違う。支援員にしわ寄せがいつているのではないか。

A 支援員に対して汚い言葉を使うことがある。何かがあって正当な理由をもって話しても保護者に理解してもらえない。
守谷市全体として考えることではないかと思う。

Q 第三者評価制度導入についてどう考えるか。

A 松戸市は10業者が委託運営をしているが、第三者評価制度導入については、アンフィニから提案した。